

（記載例） 特定施設設置（使用、変更）届出書

〇年 〇月 〇日

高松市長 殿

届出者 〇〇県〇〇市〇〇町〇 - 〇  
株式会社△△△△ 代表取締役 〇〇〇〇  
郵便番号（ ） 電話番号（ ）  
（氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名）

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項（第13条第1項又は第2項、第14条第1項）の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社△△△△ 高松工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	高松市〇〇町〇 - 〇	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	第1の5号 廃棄物焼却炉 第2の15号イ 廃ガス洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあっては別紙1、水質基準対象施設にあっては別紙4のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあっては別紙2、水質基準対象施設にあっては別紙5のとおり。	※備考	
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあっては別紙3、水質基準対象施設にあっては別紙6のとおり。		
緊急連絡先 （担当部署及びその所在地、担当者名、電話番号）	〇〇市〇〇町〇 - 〇 〇〇〇〇 〇〇部 （〇〇〇）〇〇〇 - 〇〇〇〇		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあっては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
  - 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1		
特定施設番号及び名称	第1の5号 廃棄物焼却炉		
型式	〇〇製 〇〇型	図面を添付してください。	
施設の設置場所	別紙のとおり		
設置年月日	年 月 日	年 月 日	
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日	
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日	
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日	
規模	原料の処理能力 (t/h)	該当する規模を記入してください。	
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	炉の容量 (t)		
	焼却能力 (kg/h)		150
	火床面積 (m <sup>2</sup> )		2.8
その他参考となるべき事項	二次燃焼		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記入すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記載した概要図を添付すること。

## 特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

工場又は事業場における 施設番号		No. 1			
使用状況	1日当たりの 使用時間及 び月使用日 数等	9時～17時 8時間/回 1回/日 22日/月		時～	時 日/月
	季節変動	なし			
原料及び 燃料(ダイ オキシン 類の発生 に影響の あるもの に限る。)	種類	紙類/木屑			
	使用割合	各50%			
	原料又は燃 料中の塩素 分の成分 割合(%)				
	1日の使用量	各500 kg			
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	最大	1000	通常 800	最大	通常
	排出ガス温度 (°C)	150		設計値を記入してください。	
排出ガス中の酸素濃度 (%)	15		設計値を記入してください。		
排出ガス中の ダイオキシン類の濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	最大	8	通常 5	最大	通常
	その他参考と なるべき事項				

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準常態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場における 施設番号	S-1 焼却炉集じん装置	
名称及び型式	〇〇社製〇〇〇	
発生ガスの処理の内容	二次燃焼室で処理できないばいじんを集じんする。	
処理の系統	焼却炉（助燃バーナー） →二次燃焼室 →アルカリ洗浄 →軟式サイクロン →煙突	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">                     図面を添付してください。                 </div>
施設の設置場所	別紙のとおり	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記入すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記載した概要図を添付すること。

特定施設（水質基準対象施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1 焼却炉 廃ガス洗浄施設	
特定施設番号及び名称	第2の15号イ 廃ガス洗浄施設	
型 式	〇〇社製〇〇	
構 造	鋼版製	
主 要 寸 法	1.5×3 m	
能 力	1 m <sup>3</sup> /時	
配 置	別紙のとおり	図面を添付してください。
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	No. 1焼却炉の 発生ガスの処理を行う。	ガス等を発生する施設を記入してください。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記入すること。

## 特定施設（水質基準対象施設）の使用の方法

工場又は事業場における 施設番号		No. 1 焼却炉廃ガス洗浄施設			
設 置 場 所		別紙のとおり			
操 業 の 系 統		別添フローシートのとおり			
使 用 時 間 間 隔		10時～16時			
1日当たりの使用時間		6時間			
使用の季節的変動		なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		水酸化ナトリウム溶液 (45 %) 1 kg			
汚水又は 廃液の 汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
	ダイオキシン類	0.01	0.1		
汚 水 等 の 量 (m <sup>3</sup> /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		0.1	0.2		
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項					

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における 施設番号		処理施設							
処理施設の設置場所		別紙のとおり							
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		○年 ○月 ○日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		○年 ○月 ○日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		○年 ○月 ○日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式		工程排水処理施設							
構造		鉄筋コンクリート製							
主要寸法		別紙のとおり							
能力		40 m <sup>3</sup> /日							
処理の方式		活性汚泥、接触酸化							
処理の系統		別紙のとおり							
集水及び導水の方法		塩ビ管							
使用時間間隔		連続							
1日当たりの使用時間		24時間							
使用の季節変動		なし							
消耗資材の1日当たりの 用途別使用量		資材名	用途		1日当たり の使用量	資材名	用途		1日当たり の使用量
		リン酸アン モニウム			○kg/日				
汚水等の 汚染状態及び 量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	ダイオキシン類	0.01	0.01	0.1	0.1				
量 (m <sup>3</sup> /日)	0.1	0.1	0.2	0.2					
残さの種類, 1月間の種 類別生成量及び処理方法		種 類	生 成 量 (月間)	処 理 方 法 の 概 要		種 類	生 成 量 (月間)	処 理 方 法 の 概 要	
		汚泥	○kg/月	○○業者に委託				再利用率により、外部への排出のない場合は、その旨を記載し、処理施設の記入は必要ありません。	
排出水の排出方法		排出口の位置 別紙のとおり 排出先 ○○川							
その他参考と なるべき事項		(ダイオキシン類を含む汚水は、 灰冷却用に再利用されるため、外 部への排出はない。)							

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記入すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別添 1

ダイオキシン類の排出量

工場又は事業場における 施設番号					
排出水 の汚染 状態 (g/m <sup>3</sup> )	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	ダイオキシン類	0.01	0.1		
排出水の量 (m <sup>3</sup> /日)		0.1	0.2		
その他参考と なるべき事項					
排出先		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共用水域</li> <li>・地下浸透</li> <li>・分流式下水道</li> <li>・合流式下水道</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共用水域</li> <li>・地下浸透</li> <li>・分流式下水道</li> <li>・合流式下水道</li> </ul>	

別添 2

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	ア 事業場全体の配置 イ 給水経路 ウ 排出水の排出経路 (特定排水、間接冷却水を色分けしてください。) エ 雨水専用排水路 オ 処理施設の設置場所 カ 特定施設の設置場所		
	図面を添付してください。  ※ ア～カの図面を添付してください。		
用途別用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
合計			